

◆高橋正則・佐藤守弘二人展

「高橋正則・佐藤守弘二人展―魚沼を描く―

(4月21日～5月15日)※会期を延期しての開催です。お二人は魚沼市の絵画団体・白象会と公募団体示現会の会員として活躍しており、魚沼の風景を描いた作品は評価が高く、イケビでの二人展は2回目となります。高橋さんが描く八海山は堂々としていながら人々の暮らしを包み込んでくれる優しさがあり、佐藤守弘さんの作品は鮮明な色彩が特徴的で、新緑や季節折々の魚沼の美しさを感じる事が出来ます。それぞれ魅力がありますが、展覧会は油絵だけでなく、現場のスケッチも展示予定です。ぜひご高覧ください。

新しく、イケビ公式ツイッターもオープンしました。二人展を始め、展覧会やイベント



高橋正則「初冬の八海山」F100 2021年

情報を発信していきますので、こちらもよろしくお願いたします。(広田かおり)

◆池田記念美術館卒業のご挨拶

思い起こせば、美術館で働くようになったのが2010年の4月でした。東京での単身赴任が終了し、浦佐に戻ったの勤務でした。当館に勤務しては12年が過ぎ、無事に勤務してこられたのも佐藤前館長、高橋現館長及び美術館スタッフの皆様のおかげです。当然のことながら、美術館の母体であるベースボール・マガジン社には現時点まで34年間にわたりお世話になりました。初代理事長の故池田恒雄氏、現理事長の池田哲雄氏、及び諸先輩や同僚の方々のおかげでこれまで勤務することができました。深く感謝申し上げます。

そして、最も大切なことは、これまでご来館いただいたお客様への感謝です。そして様々な展覧会やイベント・倶楽部運営などに協力いただき、共に参加・活動していただいた皆様やアーティストの皆様への感謝です。



佐藤守弘「陽春」F50 2017年

す。ここに深く御礼申し上げますと共に、これからも池田記念美術館へのご指導、ご協力をお願い申し上げます。

4月末日付けの退職となりますが、浦佐に在任しておりますので、これからも隣人としてよろしくお願いたします。(岡西英孝)

◆文化講座のご案内

新しく何か始めたいと思う春に、お勧めの文化講座を三つご案内します。

一つ目は「美文字講座」です。講師の富所白象さんが基礎から分かりやすく指導します。筆ペンで名前や文字を美しく書く講座と、大筆を使って基本から楷書や隷書を学ぶ講座があります。書道が未経験の方でも大丈夫です。

二つ目は「夏のフラワーアレンジメント講座」です。講師の馬場久美子さんの指導で夏に合わせたフラワーアレンジを楽しめます。知っているようで知らなかった花の切り方や手入れ方法も聞くことができます。花のある暮らしが心を癒してくれます。

三つ目は「エアロ&ヨガ」です。講師の高橋みゆきさんと一緒に、夜の美術館という特別な空間で体も心もほぐしながら楽しみたいしょう。

年間を通していろいろな講座を企画していますので、当館のホームページなどでチェックしてみてください。(佐藤良子)

◆お得な年間パスポート

池美の年間パスポート『夢パスポート』をご存知でしょうか。入会金3000円で、ご来館いただいたその日から1年間ご利用できます。入会特典として、入館招待券(¥500)3枚と「いけばかフェ」でご利用いただけるドリンクチケット(¥310)2枚をプレゼントしています。有効期間中に開催される全ての展覧会と常設展が観覧できるの

で、このパスポートがあればいつでも気軽に立ち寄りいただけます。

併せて、企業様向けに法人パスポートもご用意しております。一口1万円、パスポートご提示で5名様まで入館できます。福利厚生としてご利用いただけるこちらのパスポートは、特典として入館招待券を10枚、ドリンクチケットを10枚、そして企画展ごとに観覧券をその都度4枚プレゼントしています。とてもお得な2種類のパスポート。新年度にぜひ、ご購入いただけたら幸いです。ご入会はスタッフまでお申し付けください。(山口加奈子)

◆イケビの新年度

桜前線が北上中との報道を目にする毎日です。八色の森公園はまだ雪に覆われていて、4月に入ってやっと散歩道の一部が除雪されたばかりです。南魚沼市内のコロナ感染者数はなかなか減らず心配ですが、今日は暖かな春の日和だったせいか、こども園の園児が池でのんびり泳ぐアヒルを囁き立てながら、にぎやかに遊んでいました。美術館からは越後駒ヶ岳の雪が眩しく、山肌の雪崩跡が目立つようになり、雪形が浮かぶ日も近いようです。新年度が始まりました。当館では7年前に故斎藤真一氏の絵画展「越後誓女日記」を企画して好評でしたが、新緑の5月に、写真家の橋本照高氏が撮影した誓女さんの写真展を開催します。三味線を手にした魚沼の地を歩いた長岡誓女の写真など多数展示します。

また秋には、最後の誓女といわれた小林ハルさんや元ハンセン病患者の詩人桜井哲夫さんの内面世界に切り込んだ鉛筆画家として知られる、木下晋氏の絵本原画展を予定しています。「ハルばあちゃんの手」「はじめての旅」「森のパンダ」のほか、中国で先行発売された新作絵本「おばあちゃんの大晦日」を初公開します。ご期待ください。(高橋良一)

①秋元貴美子写真展「都市と自然のエレメンツ」

■～4月14日（木）

独特の視点で都市風景や自然のエレメンツ（地水火風空）に着目した静謐な写真世界。展示作品は400点以上。秋元氏は日大芸術学部写真学科教授。

②〔收藏品展〕東欧の絵画とナイーヴ・アート

■～4月14日（木）

当館の收藏品の中から、ブルガリアの画家カジム・イシノフなどの絵画や、主に旧ユーゴスラビアの素朴派ともよばれるナイーヴ・アートの作家を紹介。

③〔春季特別展示〕

第5回 錯覚展 2022 「杉原教授の不思議な世界」

■～5月8日（日）

錯視研究の第一人者、明大研究特別教授の杉原厚吉先生が制作した「実際とは違うように見えてしまう」作品を約70点展示。「起き上がる立体」は初公開です。

④高橋正則・佐藤守弘 二人展「魚沼を描く」

■4月21日（木）～5月15日（日）

魚沼市の絵画団体白象会の中心メンバーで公募団体・示現会の会員でもある両氏の二人展。八海山や駒ヶ岳の越後三山、魚沼の自然を描いた風景画を展示します。

⑤〔アートスペースシモダ所蔵〕

橋本照嵩写真展「越後の瞽女」

■5月21日（土）～7月10日（日）

日本を代表する写真家・橋本照嵩氏が1970年代に長岡と高田の瞽女さんと同行して撮影した写真160点と、日本各地の民俗写真60点を展示する圧巻の写真展です。

⑥第23回 八海山夢展

■7月16日（土）～8月29日（月）

魚沼の美術愛好家を中心に、絵画・書道・写真・水石・工芸の5部門で約100人が作品を発表します。地元の美術振興を目的に創設され、今回で23回目の開催です。

⑦〔同時開催〕第5回 八海山ジュニア展

■7月16日（土）～8月29日（月）

令和3年度新潟県ジュニア展に入賞した近隣地域（南魚沼市と魚沼市）の児童生徒の作品を展示します。

⑧第6回 八色の森の美術展

+八色の森の子ども絵画展 2022

■9月3日（土）～10月23日（日）

全国各地から現代美術の世界で活躍する作家30人以上が出品し、地元の子どもの作品と一緒に共同展示する注目の美術展。会期中、作品を媒介にした「哲学対話教室」を実施して、美術館の未来像を提起します。

⑨驚きの鉛筆画 木下晋の絵本原画展

■10月29日（土）～12月23日（金）

10H から10B まで22段階の鉛筆を使い分け、人間の内面世界を描く作家として知られる木下晋氏の絵本原画展。「ハルばあちゃんの手」「はじめての旅」「森のパンダ」のほか、「おばあちゃんの大晦日」を日本初公開。

⑩第67回 南魚沼郡市児童生徒美術展

■1月6日（金）～1月17日（火）

南魚沼市及び湯沢町の児童生徒の創作意欲あふれる作品約450点を展示します。期間中は全館入館無料です。

⑪魚沼ベストショット展 Part Ⅱ

■1月21日（土）～3月5日（日）

県内外からの出展者と特別参加の高校生が魚沼地域の変化に富んだ美しい自然や風習など、自慢のベストショットを出品。魚沼の魅力を発信します。

⑫〔冬季特別展示〕

第6回 錯覚展 2023 「杉原教授の不思議な世界」

■1月21日（土）～4月16日（日）

杉原厚吉先生が制作した作品を新作を中心に紹介します。また、3月には地元の八海山麓スキー場で「雪の錯覚すべり台」を制作・公開します。

⑬創立70周年記念 白象展

■3月11日（土）～4月16日（日）

魚沼市唯一の絵画団体、白象会の創立70周年記念展です。切磋琢磨しながら絵画の腕を磨いている会員の多岐にわたる作品群を展示します。

